

平成23年度各会計の

決算を認定

第4回定例会では、平成23年度一般会計を含む8会計の決算について、9月24日の本会議で審査を行い、採決の結果、全会計の決算を認定としました。



一般会計の決算では、歳入が71億3538万円に対し、歳出が70億930万円となり、差引き1億2608万円については、翌年度に111万円を繰り越し、残りは財政調整基金へ積み立てる処理が行われました。

決算の結果、平成23年度末の基金(預金)の総額は23億7957万円で、前年度と比較すると1078万円増加しました。また、全会計を合わせた町債(借金)の現在高は93億383万円となり、前年度と比較して8億4945万円減少しました。

審査では、平成23年度予算を議決した趣旨と目的にしたがつて、適切に、そして効率的に執行されたのかどうかについて質疑が行われました。行財政の健全化に努めながらも、町民への教育・福祉の充実や、産業の振興、生活基盤の整備がはかられたことにより、認定としたものです。平成23年度の事業として、御影診療所(診療棟・入院病棟)整備事業、清水赤十字病院人工透析施設整備費助成事業、公営住宅改修事業、清樺団地外装塗装工事、図書館施設改修事業などが実施されました。

行政報告

(財)清水町農業振興公社の清算について

3月末で解散となった(財)清水町農業振興公社は、その後、清算人会及び評議員会において、平成23年度事業報告及び決算報告、清算終了の決算事務報告が承認された後、清算終了登記を申請、登記完了後に道知事に清算終了届を送付し、同公社の清算事務を完了したところである。

なお、同公社より町に、小型乗用自動車1台、軽貨物自動車1台、乗用草刈機1台及び(有)清水町農業サポートセンター出資証券6口券(額面30万円)、並びに現金50,486,147円が寄附された。

農作物の生育状況等について

9月1日現在の生育状況等は、秋まき小麦は昨年と比較し1割程度の増収、てん菜は「並」、馬鈴薯は食用・加工用やでん粉原料用の品種ともに「並」、豆類は生育も順調であり「並」となっている。

飼料作物は、牧草の一番草は収量・品質とも平年以上となり、二番草も収量が平年を上回った。

今後においても、農作物の適期収穫指導等に万全を期していく。

熊牛郵便局の局舎改築について

郵便局株式会社より、熊牛郵便局の現局舎の一部を取り壊し、同一敷地内に新局舎を来年3月中旬頃までに建築、残りの現局舎を4月以降に取り壊すとの説明を受けた。

熊牛郵便局では、平成19年度から集配業務は廃止され、平日の窓口業務と土曜日半日のATM開設のみの業務内容となっている。

改築による局舎の面積は、現局舎より小規模となる予定だが、現行の業務内容は維持される。

平成24年度 補正予算

一般会計

(4回目の補正)

3億1,124万円 増

総額 **76億 1,925万円**

一般会計の主な補正(歳出)

- ◇町議会議員選挙事務費 133万円の増額
- ◇保育所臨時職員新規雇用賃金等 267万円の増額
- ◇健康運動教室講師謝礼 24万円の増額
- ◇ポリオ不活化ワクチン予防接種委託料 386万円の増額
- ◇明渠排水路維持管理等工事 130万円の増額
- ◇シーニックバイウェイルートマップ作成負担金 15万円の増額
- ◇桜並木補植工事・記念植樹看板建替工事 105万円の増額
- ◇道路等補修工事 368万円の増額
- ◇図書館暖房温水配管改修工事 37万円の増額
- ◇公共施設建設等基金積立金 3億900万円の増額

国民健康保険特別会計

(2回目の補正)

2,232万円 増

総額 **13億 7,724万円**

国保会計の主な補正(歳出)

- ◇退職被保険者等療養給付費 1,500万円の増額
- ◇退職被保険者等高額療養費 300万円の増額
- ◇特定健康診査・特定保健指導未受診者等対策事業委託料 351万円の増額



清水羽帯間道路にエゾヤマザクラの補植工事を実施。

※そのほか、後期高齢者医療保険特別会計、介護保険特別会計、公共下水道事業特別会計、集落排水事業特別会計、簡易水道事業特別会計の補正予算案を原案のとおり可決。